

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	北海道支部	(2)記載者氏名:	漆崎 隆	会員番号:	13040	事務局整理記入欄	北海道 - 83
分水嶺区分:	H030函岳～H032加須美峠	(3)山行日:	2004年	6月	13日	(4)天候	曇りのち晴れ

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

安田 成男	6195	鈴木 和夫	13172					
畠山 迪子	12850	高木 百合子	13445					
漆崎 隆	13040	石田 栄子	支部会友4					
漆崎 裕子	13041							
計			7名		計			名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:		函岳 加須美峠											
アプローチ:		札幌 名寄 加須美峠 函岳(往復)											
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特 記
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	C1000m	函岳	142	24	9.9	44	39	33.44	1,006.0		8:28		
分水嶺到達点 H030	函岳頂上	"	142	24	43.6	44	39	57.43	1,133.7	9:07	9:15	A-2	8・9
分水嶺離別点 H032	加須美峠	"	142	26	41.0	44	37	6.90	726.9	11:34		A-2	
歩行終了点													
総歩行時間(休憩時間を除く):											3時間00分		
分水嶺距離											10.1km : その他距離 1.0km		

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
H030	函岳	1		良好	M33.6.3撰点

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

函岳直下には北海道開発局建設部道北レーダー雨雪量計局舎(雨量ドーム)と避難小屋がある。	
加須美峠から函岳までは車の通る管理道路が整備されている。これらは全て地形図上に記載されていない。	

(9)水および植生に関連した特記事項

1000m付近からは、笹原にダケカンバがまばらに生えている。	

(10)その他の特記事項

6月13日現在管理道路は、標高1000m付近で残雪のため車両通行不能となり、徒歩で函岳頂上を目指す。	
函岳頂上から加須美峠までの10kmは、2kmずつリレー方式で、徒歩による踏査を行った。	

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:	